

[フィリピンに本をおくる会] の活動通信



NO.12

2021.07

発行：NPO 法人シニアの再チャレンジを支援する会事務局 <担当：宮崎>
〒171-0044 東京都豊島区千早 4 丁目 38 番 5 号 ビルホリモト 101
TEL: 050-3700-5040 FAX: 050-3488-1763
E-mail: seniorrechallenge2@gmail.com
(理事長：岩熊 徹 活動代表：金子多美江)

「フィリピンに本をおくる会」の活動を決算報告

——NPO 法人シニアの再チャレンジを支援する会——

理事長 岩熊 徹



「フィリピンに本をおくる会」の皆様、またその活動を支援される団体の皆様や個人の方々には、この長引くコロナ禍の中でのさまざまなご尽力、誠に敬服する次第であります。我々「さいちやれ」では微力ではありますが、SNS ツールによる現地とのコミュニケーションを基に、現地状況の把握や絵本の翻訳作成・発送などの支援をさせていただいております。このたび当方の決算もあり、この場をお借りしてその内容を添付させていただきます。今後も皆様と一緒に「フィリピンに本をおくる会」の活動を継続・発展させていけますよう頑張ります。

決算の状況について

フィリピンに本をおくる会の活動は 2020 年 6 月にシニアの再チャレンジを支援する会(通称さいちやれ)と合流し、その活動を継続発展し 2021 年 3 月末に“さいちやれ”決算を迎え、定時総会を持って活動実績が承認されました。つきましては、“さいちやれ”決算の中からフィリピンに本をおくる会の活動決算を報告させていただきます。皆様の温かいご支援を頂いたこと、大変ありがたくお礼申し上げます。前年度収支については、下記表を参照下さい。また簡単に収支についてコメントさせていただきますのでご参照下さい。

フィリピンに本をおくる会の活動 (単位：円)

収入の部		支出の部	
個人寄付	179,000	現地運営スタッフ謝金	420,000
あむあむ収益寄付	228,371	業務委託費用	80,000
活動資金引継ぎ	793,055	旅費交通費	3,500
受取助成金(さいたま市社会福祉協議会)	10,000	イベント等運営諸経費	6,577
		ホームページ等広報関係費	20,090
		手土産等交際費	17,560
		支援寄付金	123,000
		振込手数料	9,760
		通信運搬費	17,288
		事務用消耗品費	85,052
		絵本等書籍購入費	36,906
		支出計	819,733
		翌期繰越資金	390,693
収入の部計	1,210,426	支出の部計	1,210,426

収入の部

●収入総額 1,210,426 円の内、790,055 円は合流前の活動資金を引継ぎさせて頂いたものです。

●当期寄付の内訳は個人の皆様から

の寄付金として 179,000 円、あむあむ販売活動より 228,371 円を当活動の為の寄付をいただきました。

支出の部

●現地運営スタッフ謝金は2ヶ月に1回 60,000 円を現地図書館の運営費として送金しています。今回の計上は 7 回分の支出です。なお現在は現地 SPM より毎月、図書館報告が、クラウド上にデータとして報告が届きます。

●業務委託運営費は、翻訳ボランティアへの支払 50,000 円、さいちやれ活

動運営費 30,000 円の支払いとなります。

●支援寄付金としては、2020 年 11 月に現地で発生した台風被害の為の支援金 100,000 円と台風被害を受けた図書館の再建費用 23,000 円を現地に寄付金として送金しました。

家族の近況:

パパ 2 ページ
ママ 3 ページ
子供たち 4 ページ



繰越金

●結果として 390,693 円が翌期繰越金として積み立てられましたが、この繰

越金は、フィリピンに本をおくる会の活動にのみ活用させていただきます。

◆あむあむ販売会

期間：11月17日（火）—24日（火）

前年はコロナ感染拡大の影響もあり、当活動を支援するあむあむ販売会は、年に1回のみ、大宮あつぷるはうすで開催いたしました。また11月にフィリピンを襲った本年最大の台風（ユリシーズ）被害へのご寄付も同時に多数寄せられました。

◆翻訳本ならびに生活用品の発送

9月27日発送—11月20日台風被害者への再配



9月27日フィリピンに本を送る会として、長年、金子さんの活動を支えてこられた RSSC4 期生のメンバーのもとで梱包作業が行われ、船便で11月に現地に届けられました。今回の支援品は、現地台風被害の支援物資として156家族向けに再配分され大いに感謝されました。

◆あむあむ shop OPEN



シニアの再チャレンジを支援する会

コロナ感染の影響下におけるニット販売活動を補完するため、ネット販売サイトを Open いたしました。実際の販売活動までは展開できておりませんが2021年度には、当サイトの運営を本格化し、少しでもあむあむのニット販売活動の支援に結び付けたいと思っています。



◆現地とのコミュニケーションの大幅改善

さいちゃれの持つITスキルを活用し、現地とのコミュニケーションが大幅に改善されました。現在では、SNS やクラウドを積極的に活用しています。

なおこの SNS を活用して、2012年制作の紙芝居の主人公であるエイプリルちゃんの近況写真が送られて来たことは、私たちにとって大きな喜びでした。

* マガタ物語は Youtube でこちらのサイトよりご覧ください。



☛ [マガタ図書館からの紙芝居](#)

2021 年度に予定する主な活動について

◎マガタ第二図書館の再建計画立案を目指します

フィリピンでも、コロナ感染の影響により移動等の大きな制約が続きますが、フィリピンで私たちの活動を支援するフェルデイさんより写真などにより、設計だけでも進めることができるとの提案を頂きました。よって、2021 年度はマガタ第二図書館の設計を含めた再建案の立案を目指します。当立案に伴い、2022 年度はクラウドファンディングなどを活用しての集金活動、2023 年度には再建を目指したいと思いを。

◎活動への助成金等の支援活動を積極的に展開いたします



ナイロンパーカー
S サイズ 40 着

パパ 2 ページ

ママ 3 ページ

子供たち 4 ページ

ポロシャツ
S サイズ 7 着



フィリピンに本をおくる会の活動を積極的に支援するため、可能な助成金支援の取得、寄付・寄贈の可能性の確認等積極的に展開いたします。なお 2021 年 5 月には大塚商会様より、次の商品の寄贈を頂きましたので、6 月に現地に発送いたしました。寄贈頂きました大塚商会様には大変感謝申し上げます。

◎「ニット教室」開講いたします。



2021 年 10 月嶋田先生のご支援を頂き、“さいちゃれ”では、あむあむの会の活動の一環として初心者向けのニット教室を開講いたします。当教室は、豊島区 KATE SALON で開講し、地域の皆様のあむあむ活動へのご理解及び支援を頂くきっかけとする活動として開催いたします

◎翻訳ボランティアの増強について

昨年の翻訳は、フィリピン在住支援者であるフェルデイさん、日本在住フレデイさん、ミレナ先生の支援を頂きながら進めてまいりましたが、必ずしも思うような数の翻訳数には達しませんでした。2021 年はこの体制を強化し、学生ボランティア、フィリピン在住ボランティア等を積極的に活用し、体制の強化を推進してまいります。

●翻訳データのナレッジ化推進

現在は金子さんたちにより作成され、累積された多くの翻訳データが、紙のデータとして保管されています。この貴重な財産を長く共有財産として活用し、管理運用するために、データ化を積極的に推進してまいります。

●マガタ村と紙芝居

現在は金子さんたちにより作成され、累積された多くの翻訳データが、紙のデータとして保管されています。この貴重な財産を長く共有財産として活用し、管理運用するために、データ化を積極的に推進してまいります。

●その他の活動として

コロナ感染の収束の状況にもよりますが、あむあむの会のニット販売会の通常開催、KATE SALON を活用しての初めての開催、活動通信の発行を定時発行年に2回、決算時1回の発行を目指します。また、活動通信の英語版を発行し、私たちの活動を現地フィリピンにも届けるようにしたいと思っています。

家族の近況:

パパ 2
ママ 3
子供たち 4 ページ

現地だより

SPM スタッフの皆様より次のコメントが届いています



Annaliza N. Aguliar
図書責任者/会計

パンデミックのこの時期、学校は近くにあり、子供たちはただ遊んでいるだけで、勉強にあまり注意を払っていないようです。しかし、ここにあるマンガハン 第1図書館 は常に開いており、子供と親/大人達が、ここにあるすべての本を楽しむことを歓迎します。ウイルスは人を殺すことができますが、本は心に命を与えることができます。



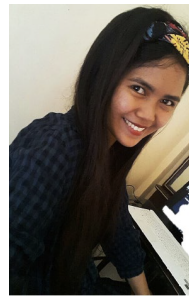
Janic N. Embile Magaa
司書

第1・第2・第3図書館は、日本の面白い本が読めるリサール州タナイの山岳地帯にある唯一の図書館です。私たちはそれを「隠された宝」と呼びます。それは本を読み、学ぶことができるただの図書館ではありません。台風の際には、避難所として私達を守ってくれます。「子供たちは本が好きです。また私も本が大好きです」



Annalyn M. Marquez
Ratong 司書

「小さいけれどすごい！」これは、子供たちに大きな心で接するラトンの小さな図書館です。たくさんの美しい本が読める小さな図書館、子供たちの笑顔が大きい小さな図書館です。私にとって、これは金子さんと FNL メンバーからの最高の贈り物です。 _



Mariz Mendes/
連絡担当

マガタの子供たちのために本を読んだり、絵を描いたり、川と一緒に泳いだり、一緒に暮らしたりすることで、金子さんが言った「山で見つけた宝物は子供たちでありそれは金以上のものです。」を信じることができました。「Ang makatayo sa sariling paa at makapag pasya」(一人立ちし、自分で決めることを可能にする)それがマガタ、マンガハン、ラトンのすべての子供たちへの私の夢です。 _

家族の近況

- パパ 2 ページ
- ママ 3 ページ
- 子供たち 4 ページ



Omon S. Mendez
司書

図書館は、学校の精神として機能します。 _したがって、すべての学校には独自の図書館が必要です。マンガハン・マガタ・ラトンの図書館は、現在の教育状況の具体的な状況に 対応している必要があります、教育における現在の技術的進歩と同じレベルである必要があります。



支援者様の声をご紹介します

◎「フィリピン日本をおくる会」への活動支援に感謝

永年に渡りフィリピンに送本を続けられて来た「フィリピンに本を送る会」に、昨年からは支援の手を差し伸べて頂きました「シニアの再チャレンジを支援する会」の皆様へ、お礼申し上げます。

活動通信 N 0.11 を読ませて頂き、「支援する会」の岩熊徹理事長様は、在学中から「本を送る会」の活動に大きな感銘を受けられていたことが、この度の支援の原点であったことを知りました。

充実した組織と IT 機器を利用した優秀な人材を持った「支援する会」の皆様の支援活動で、「フィリピンに本をおくる会」の真心活動が更に発展し、フィリピンの人達に学習充実と生活安定を拡充することを、期待いたします。

令和3年6月24日 杉山 久是

家族の近況:

- パパ 2 ページ
- ママ 3 ページ
- 子供たち 4 ページ

活動代表 金子さんコメント



「さいちゃれ」に運営をお願いして2年目に入り、「フィリピンに本をおくる会」の活動は会の理念を生かし、より活発に行われていること嬉しく思っています。昨今、引継ぎ者がなくやむなく解散する会も多いのに、よい会と出会い幸運でしたねとある方の便りにあって、大きく頷いております。

フィリピンは日本と同様、コロナの終息は遠いようですが、困難を乗り越えながらあいかわずたくましく子どもたちは成長をとげているようです。そんな中でも紙芝居に取り組み、先日届いた3篇にはその様子が生き生きと描かれています。今年も入賞するよう願っています。

翻訳活動は、先端機器の活用により速く確実に取り組まれ、本の送付、本作り、「あむあむ」の活動も多くの方々の協力でスムーズに引き継がれています。破損の酷い第2図書館の改築も考えられています。このような活動も皆様のおかげです。会は皆様のご寄付のみで運営されております。どうぞ力強いご支援を今年度もよろしく願いいたします。

NPO 法人シニアの再チャレンジを支援する会の「フィリピンに本をおくる会」の活動は、今後も継続し、翻訳本をおくる活動を続けてまいります。当活動支援いただける方は引き続きご支援お願いいたします。なお支援金の送付は下記までお願いいたします。

★郵貯口座

名義) 特定非営利活動法人 シニアの再チャレンジを支援する会
トビ) シニア再チャレンジ 研究会 (口座) 記号 00150-6-420797

★銀行からの送金の場合

ゆうちょ銀行 店名〇一九 店番 019
(当) 0420797



家族の近況:

パパ 2 ページ


ママ 3 ページ

子

私達、シニアの再チャレンジを支援する会は、本年5月より、当会の会員である堀本さんにデザインして頂き、左記新ロゴを採用いたしました。当ロゴは、さいちやれの目指す3本の柱である次の3つの事業を示しています。

- Recurrent Education for seniors (シニアの為の再教育事業)
- Matching to a rewarding way of life (マッチング事業)
- Project activity (自主運営活動)

なお、「フィリピンに本をおくる会の活動」は、さいちやれの自主活動事業の大きな柱として展開させていただいております。私達と共にこれら活動に興味頂き、私たちの活動に参加頂ける皆様は下記より入会の手続きをお願いいたします。

(入会ご案内) 



(入会届) 